

令和 5 年度 東区・北区合同自治協議会委員研修会 開催報告

日時：令和 5 年 8 月 31 日（木）午後 3 時 00 分

場所：東区プラザホール

出席者 東区 22 名 北区 10 名

1 開会

2 今年度提案事業説明（各区事務局から）

<東区>

11 月に無作為抽出した東区在住の 3,000 人を対象にアンケートを実施予定。その質問項目づくりを 5 月から 8 月の部会で行った。各部会 10 問という設定で、聞きたい内容をグループワークなどで検討し、8 月で各部最終案を確定した。今後は、その調査結果に基づき、どのような課題をテーマにするかを検討の上、来年度の事業を考えていく。

<北区>

今年度から東区と同じく、初年度調査研究、次年度事業実施の手法に変更した。今年度は、自然文化部会は「北区の魅力を知る」をテーマに北区の主要な景勝地、施設等を視察している。福祉教育部会は「地域活動の担い手不足」をテーマに、地域の茶の間の研修を行った。地域づくり部会は「防災」をテーマに、9 月にハザードマップについて防災担当職員からの研修、その後国・県から講師を招き防災に関する研修を行う予定。これらの調査研究を活かし、来年度の事業内容を検討していく。

3 各部会での意見交換会

次ページ以降参照

4 終了後アンケート配布。

第1部会 概要録

東区第1部会・北区地域づくり部会 …プラザホール

進行 東区地域課 真島

【会議内容】

(1) 自己紹介

(2) 事例報告

資料に基づき説明 報告者 東区…田宮部会長、北区…前田会長

(3) 意見交換

・東区の1部会で作成した回覧板はとても良い取り組みだと感じる。北区にもこのような回覧板が欲しい。

・北区の自治会・町内会においては、役員の方はとても協力的ではあるが、その役員が実際にどんな活動をしているか地域の住民は分かっていないことが現状。

・北区の自治会では自治会ニュースという広報物を発行しているが、どのくらいの人が見ているのかわからない。

…東区のある自治会も自治会ニュースと同様の広報物を回覧板と合わせて配布している。しかし、なかなか手に取ってもらえないことが課題であるため、1軒ずつ手渡しで配布することも一案として考えている。

・北区の取り組みとして開催した「まなぼうさい」はとてもよい事業であると感じる。具体的にはどんな狙いのある取り組みであったのか。

…特に若者や子どもたちを巻き込んだ防災活動の事業にしたいという取り組みであった。実際に地域の子どもたちも非常に多く参加し、楽しく防災を学ぶことができたとの声も多く上がった。

・「まなぼうさい」の開催に際して、PTAはどのように関わったのか。

…木崎小学校で実施した「まなぼうさい」については、木崎小学校PTA体育部と共催という形で行った。自治会はお手伝いという形で主にPTAが主体となって実施した。

・「まなぼうさい」について、参加者アンケートの結果は概ね好評であった。特に参加した中学生からは地域の人とコミュニケーションが取れて良かったといった声が上がっており、防災について学ぶ場であったとともに、地域交流にも繋がった事業であった。

・自治協議会委員の任期が2年は短いように感じる。継続した事業の実施や地域課題が刻々と変容するなか、新たな視点における自治協としての取り組みが必要になると感じる。

第2部会 概要録

東区第2部会・北区福祉教育部会 …多目的ルーム2

進行 北区地域総務課 佐藤

【会議内容】

(1) 自己紹介

(2) 事例報告

資料に基づき説明 報告者 東区…吉田部会長、北区…事務局 佐藤

(3) 意見交換

・北区の「応援します、あなたの一步」講座は、非常にいい取り組みだと思う。ただ、参加者2名だったことは、今後継続して行っていくのであれば、次回以降広報について検討が必要。

・講座のテーマが漠然としているように感じる。何のボランティアを行うのか？など明確にテーマをしぼり、それをきちんと伝える広報を行うといいと思う。

・広報を、どのような手法で行うかがターゲットによって違う。若者はSNSだし、高齢者は紙ベースがわかりやすい。

・東区でもそうですが、学生ボランティアは、声をかけると大勢来てくれる。定年退職後の男性が、特になかなか外に出てこない。きっかけがなかったり、引っ込み思案な部分で出てこれないのではないか。その方々は、声をかけられることを待っていると思うので、一本釣り手法で声をかけるとでてくると思う。

・外に出てくるきっかけをイベントなどで作るといいのではないか。例えばなにかイベントをした際に、参加者に必ず「活動と一緒に参加しないか？」誘うようにしている。そうすると、意外に参加してくれる人もいる。

・どこの地域でも担い手不足が大きな課題。学校でもボランティアが特定の方に偏り、新たな人材確保が難しくなっている。保護者も自分の子どもが学校に通っているときは活動に参加するが、卒業すると学校から遠のいてしまう。また高齢の方は学校に入りにくい。学校に継続してかかわっていけるような仕組みを作る必要がある。

・ボランティア募集をどうやって知らせるかが課題。長岡では、マッチングできるよう掲示板を作った。新潟市も区を超えて、募集している団体と、ボランティアをやりたいと思っている人をつなぐような掲示板を作るといい。

・これから部活動の地域移行もはじまるため、ますます地域が学校とかかわりながら子どもを見守ることが必須になる。地域で支え合いの仕組み作りが必要。

第3部会 概要録

東区第3部会・北区自然文化部会 …講座室3

進行 北区地域総務課 深沢

【会議内容】

(1) 自己紹介

(2) 事例報告

資料に基づき説明 報告者 東区…行田部会長、北区…小日向部会長

(3) 意見交換

・北区は自然環境が素晴らしいが、区民が楽しく遊べるようなハード面の事業を提案したことはあるか。

…福島潟については、公園が出来た当時、ラムサール条約の関係で環境保全派の方々からの反発もあり、いろいろ難しかった。

・東区の区づくり予算で各自治協委員から事業のアイデアを募る機会があり、自分は通船川に関するアイデアの提案をした。通船川は昔北区とつながっており、新潟市までの航路だったため身近に感じている。

・じゅんさい池のPRはどのように行っているのか。

…じゅんさい池に関する事業は建設課、区民生活課、地域課が分担しており、地域課では魅力発信を担当している。池に親しんでもらう取り組み（ナイトウォークなど）は昨年度いくつか行った。

・工場夜景ツアーの主催はどこか。

…主催は東区地域課だが、実際の業務はバス運行などを旅行会社に委託。

・北区は農産物のブランドがたくさんあると思う。(トマト、ナス、さつまいも)

・北区は新潟交通のバス路線が次々廃止され、集落の高齢者は移動が不便になっている。東区の区バスについてどのような状況か。

…東区は東西方向を中心に新潟交通の路線が走っているが、南北方向が少なく、そこを区バスが補完するような形で走っている(河渡ルート及び松崎ルート)。過去に江南エリアで実証実験を行ったが収支率が悪く、実現には至らなかった。

・北区は、通学利用者が子どもが減ってきていて、免許返納者の買い物と通院が主な利用目的。大きな病院は病院がバスを独自に運行しておりそちらも利用者が多い。

・今年は雨が降らないが福島潟の水量は減っているのか。

…流れ込む河川が10以上あり、山の方に雨が降っているので減ってはいない。8月28日に船で潟を巡ったがあまり変化は見られなかった。